

平成29年度BSCフォローアップシート（年度末評価用）

病院(所属)名:小児保健医療センター

区分	戦略的目標	BSCの当初目標設定内容				年度末進捗状況			評価・今後の対応	
		業績評価指標	前年度実績	数値目標	主なアクションプラン	アクションプラン実績	数値目標実績	5段階評価		
顧客の視点	難治・慢性疾患児への質の高い医療サービス・全県型医療の提供	重症患児数 (※超重症児数+準超重症児数)	895人	870人	1	人工呼吸器、酸素濃縮器、栄養ポンプのケアが必要な患者への対応	呼吸ケアサポートチーム会議を毎月1回開催。	874人	C	患児数は数値目標を上回る実績数となった。今後も増加が予想されることから、更なる受け入れ態勢の強化を図る。
	慢性疾患患者の救急体制強化	時間外慢性疾患患者救急受入れ応需率 (※患者受入件数/受入依頼件数)	100%	90%	2	救急依頼から診療までの業務改善	時間外来院患者数 …345人(うち入院138人) 時間外救急受入れ要請件数…39件 時間外救急車搬送件数 …38件 ※電話相談の段階で、症状に応じて他院への受診を案内する事例は、月4～5件あり。	97%	C	救急受入れ要請に対して対応困難との判断により受入れが出来ず他院へ搬送された事例が1件発生した。今後も数値目標が達成できるよう引き続き診療体制の強化を図る。
	政策医療の提供	精密健康診断実施数	1,478件	1,450件	3	県内の心身に障害を有する児の早期発見、障害の早期除去・軽減	保健指導部…993件 直接受診者…624件	1,617件	B	前年度実績、数値目標をともに上回る実績数となった。今後も心身に障害を有する児の早期発見、障害の早期除去・軽減に努める。
	地域の医療機関等との連携強化	びわ湖メディカルネット患者登録者数	51件	60件	4-1	びわ湖メディカルネットを活用した連携病院・診療所への患者情報の提供	びわ湖メディカルネット利用状況(平成30年4月23日現在) 情報開示施設…22施設 情報閲覧施設…316施設(7医療圏) 利用者数…2,549名 登録患者数…27,256名	103件	A	各指標とも目標値を達成している。今後も地域の医療機関との連携が必要な患者に対し、びわ湖メディカルネットの活用について十分に説明を行い、登録者数を増やす。
		紹介率	44.1%	43.5%	4-2			49.0%	B	
		逆紹介率	47.4%	41.5%	4-3			48.6%	B	
	地域の療育機関等への支援	児童発達支援センター等への派遣回数	95回	140回	5	地域への療育技術指導	派遣回数…135回 指導児童数…805人 支援内容の集約を実施	135回	C	事前に要望のあった15市町7教育へPT、OT、ST、栄養士を派遣した。今後はこれまでの成果の検証や地域療育教室のニーズの把握を行いながら、より適切な事業の実施を図る。
在宅療養の支援	年間受入件数	691件	720件	6	レスパイト入院の受入れ	11月よりシステム変更を行い実施開始。システム変更による家族の意見なども取り入れ検討を実施。	646件	C	レスパイト入院に関しては、システムの変更により対応の効率化が図れた。今後は個々の患者や家族の思いを傾聴しながらシステムの評価・修正を引き続き行っていく。	
財務の視点	病床利用率の向上	病床利用率	73.2%	75.0%	7-1	病院内全スタッフによる病床利用率、新規入院患者数、平均在院日数のモニタリング	病床利用率の日計データをグループウェアに掲載。 新規入院患者数、平均在院日数等の月間集計データを毎月グループウェアに掲載。 ※平均在院日数の数値目標は、整形外科やリハビリ科での長期入院患者数の増加に伴い、一定伸びることを見込んでいる。	66.2%	C	入院患者数の減少により、各指標とも前年度に比べ数値が低下した。今後は呼吸評価やアレルギーテスト入院等を調整し、入院患者数の増加につなげる。
		新規入院患者数	2,167人	2,106人	7-2		2,134人	C		
		平均在院日数	11.3日	12.0日	7-3		10.3日	C		
財務管理の徹底	経常収支比率	103.6%	99.8%	8	経営状況の院内周知	診療実績等資料を適時に作成し、幹事会・運営会議へ報告を行うことにより、経営状況の共有化を図った。	99.9%	C	入院患者数の減少により、医療収益がかなり落ち込んだ。費用面では必要最小限に抑制しているところだが、引き続き収支のバランスを意識した事業の執行に努める。	
内部プロセスの視点	職員満足度の向上	現在の仕事に充実感や達成感を感じている職員の率(肯定的回答率)	72.2%	75.0%	9	職員満足度調査結果の病院運営への反映	6月～7月に全職員を対象として実施した「職員意識調査」の結果に基づき意見への対応を検討し、可能な範囲で改善を行った。 また、職員提案の優秀者に対して表彰を行った。	72.6%	C	前年度実績より肯定的回答率は向上したが、目標値には至らなかった。調査結果から職場環境や労働条件について、可能なものから改善する。また、引き続き職員からの積極的な提案を呼びかける。
	効率的な職場環境づくり	職員一人あたりの時間外勤務時間数	15.2h	14.9h	10	業務の改善	各種会議の時間内開催の推奨。 部署ごとに「ノー残業デー」を設定。 研究会の開催・参加についてルール設定を行った。	16.5h	C	電子カルテの更新手続きにより一時的に時間数が増加したため、前年度実績を上回った。今後も引き続き縮減に向けた取り組みを継続する。
学習と成長の視点	臨床研究活動への支援	論文発表数	23本	24本	11	論文発表費用補助	整形外科 … 1本 小児科 … 17本 耳鼻いんこう… 1本 リハビリテーション…1本	20本	C	目標達成に向け、今後も研究活動を支援する。
	教育の充実	専門研修派遣者数	276人	151人	12	専門研修の派遣支援	診療局 … 13人 看護部 … 225人 療育部 … 68人	306人	B	目標達成に向け、今後も研修派遣を支援する。